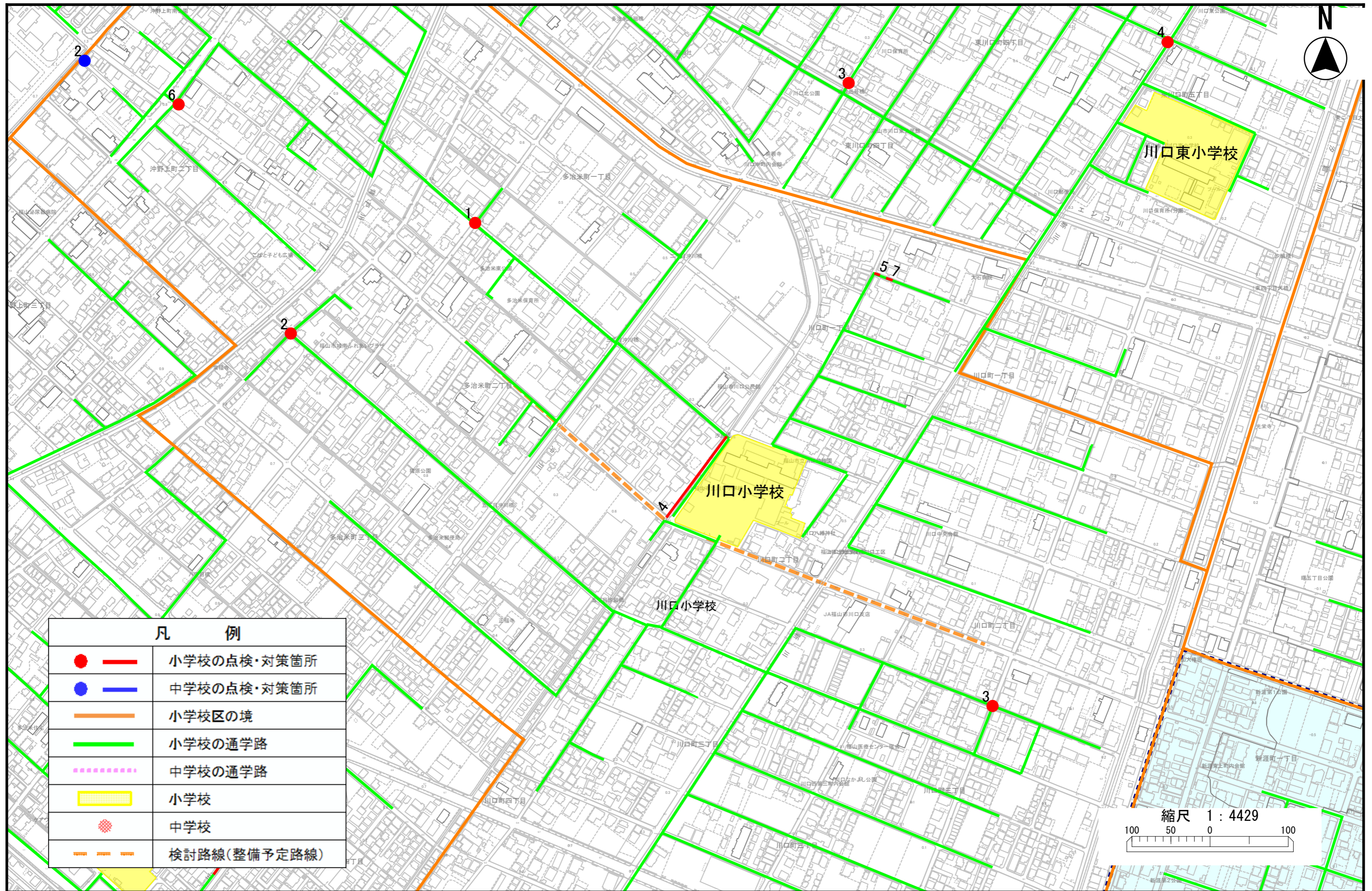
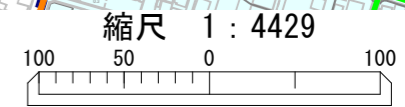


川口小学校



凡 例

| | |
|--|--------------|
| | 小学校の点検・対策箇所 |
| | 中学校の点検・対策箇所 |
| | 小学校区の境 |
| | 小学校の通学路 |
| | 中学校の通学路 |
| | 小学校 |
| | 中学校 |
| | 検討路線(整備予定路線) |



| 学校名 | 位置図 番号 | 通学路 点検年度 | 危険内容 | 通学路対策予定内容/できない理由 | 対策状況 ステータス | 備考 |
|-----|-----------|-------------|--|--|---------------|---|
| 川口 | 1 | 2024 | 横断の際の見通しが悪く、危険である。また、南北の道が通勤路として利用されており交通量が多いが、東西の道に一時停止線が引かれているため、減速しないまま通行する車両がみられる。 | 【警察】 規制標示（一時停止）の修復 速度規制標示の設置 【市】 路面標示の設置（児童注意） | 全て対応完了 | |
| 川口 | 2 | 2024 | 児童の飛び出しがあった。 | 【学校・地域】 児童生徒への交通安全教育 | 対策内容決定 | |
| 川口 | 3 | 2024 | 通学時に事故発生。車側からは民家の塀があり、見通しが悪い。 | 【市】 交差点マーク設置 | 全て対応完了 | |
| 川口 | 4 | 2022 | 転落防止柵の高さが低く（実測値800mm）、児童が転落する可能性がある。 | 【市】 転落防止柵の更新 | 対策内容決定 | 2022年度(令和4年度)からの継続[点検箇所番号4] 転落防止柵の更新 (80cm ⇒ 110cm) |
| 川口 | 5 | 2020 | 側道に鉄板が敷いてあるが、児童がつまづいてケガをする恐れがある。深い側溝があり、危険である。鉄板がかけてあるが、（住宅の完成状況により）側溝への転落防止対策が必要である。 | 【市】 転落防止柵の設置（地域ので了承を得た後） | 全て対応完了 | 2020年度(令和2年度)からの継続[2022点検箇所番号7] 居住者との協議が必要 |

| 学校名 | 位置図 番号 | 通学路 点検年度 | 危険内容 | 通学路対策予定内容/できない理由 | 対策状況 ステータス | 備考 |
|-----|-----------|-------------|--------------------|------------------|---------------|----------------------------------|
| 川口 | 6 | 2018 | 交通が多く、車のスピードも出ている。 | 【市】 外側線の引き直し | 対応中 | 2018年度(平成30年度)からの継続[2022点検箇所番号8] |
| 川口 | 7 | 2022 | 水路に転落防止柵が設置されていない。 | 【市】 転落防止柵の新設 | 全て対応完了 | 2022年度(令和4年度)からの継続[点検箇所番号6] |